

# 剣連だより . . . 『やえ』

## \* 目黒会長から一言

### コロナ禍での”思念工夫”

朝夕の寒気が身にしみる時節となりました。

コロナもとりあえず減少し、日常生活が戻りつつあるように見えますが、一方、第六波が来ると言われておりますので、私自身気を抜くことなく対策をしっかりとやり稽古をして、今までのストレスの解消・老化の防止等のため、稽古に励みたいと考えております。

コロナ禍で剣道環境も色々変化しておりますが、今だからこそ出来る事があると思います。

山内富雄先生の著書の中で、「最近の剣道に欠けるものとして、『素振り』をただ何気なしに竹刀を振っている人が多い。これではやらないよりはいいかもしれないが、『素振り』はまず相手を想定して色々な技に対して行うと効果がある。つまり常に稽古や試合を思い浮かべてやるのが大事なことだ。」と書いてありますので参考にしてください。

## 1. 剣道七段審査合格について

川瀬 達郎 先生

今年令和3年2月20日の長野七段審査会にて、小金井市剣道連盟の村上先生、黒瀬先生とともに合格をいただきました。

これもひとえに、ご指導いただきました先生方ならびに稽古をいただいた皆様方のお陰です。誠にありがとうございました。

七段審査は2回目で1回目は令和2年11月の東京審査会でした。その時は6年ぶりの審査ということでかなり会場の雰囲気にも飲まれてしまい相手を引き出す余裕がなく我慢できず審査の形を作れませんでした。私の次の組で立ち合いをした府中の日暮先生の立ち合いはまさしく堂々とした相手を引き出す剣道で合格をされました。

審査後に立ち合いの動画を興武館で小澤師範初め諸先生に見ていただき、もう少し溜めが必要だと指摘を受け、2月の審査会に向けて攻めの研究・稽古をしました。

コロナ禍で11月の審査から地稽古は2回程度しかできず、そのほかには興武館で木刀と竹刀による技の稽古のみでしたが、改めて攻めはどうすれば良いのか、技はどう出せば良いのかなどじっくりと考えることができました。

審査の一週間前の総体での自主練で右膝を痛めてしまい歩行も困難になってしまい、審査を諦めかけていた時に小澤師範から右膝が痛くてもできる剣道があるとアドバイスをいただき、審査でもそのアドバイスを忘れず試みました。

東京以外の会場での審査は初めてでしたので、余裕を持つために前日に会社から有休をいただき、ホテルにチェックインしました。ホテルの部屋では昨年11月に七段合格した日暮先生の立ち合いの動画を見ながらイメージトレーニングをし、夕飯は腹を担いでソースカツ丼を食べ審査に向けて気持ちを盛り上げられました。就寝直前まで素振り、イメージトレーニングをしました。

会場で受付後、黒瀬先生と合流しそれぞれ素振りを行いました。私が素振りをしていたところ、黒瀬先生が突然、前の組の審査に呼ばれ大変だと他人事のように思っていました。

ところが、黒瀬先生の審査が終わり審査の手ごたえ等を話していたところ、今度は私が突然、前の組に繰り上げになって、館内放送で呼び出されました。

審査会場へ入場したら既に私の組だけではなく後の2組が面を着用し着席していましたが、何故か焦らずのんびり面を着け、一度は着席しようとしたのですがマスクが微妙にずれてしまい、面を



着け直しました。着席をしたのは前の組の審査が始まった後でした。

私はAでBの方は蹲踞ができないと係員に聞き、自分が3日前まで蹲踞もできず注射を打って何とか審査までに蹲踞ができるようにしてきたので、複雑な気分でした。

一人目の初太刀は、剣先を攻め合い合気になったときに面を打ちましたが完全な同時打ちで、とにかく打ち終わった後に相手を突き飛ばす勢いで打ち抜きました。そのあとは、興武館で一年以上ずっと稽古してきた相手を引き出す攻め、そして出端、応じ技を意識し攻めました。途中はよく覚えていませんが、面擦り上げ面、面返し胴はできたことは覚えています。

（次号に続きます）

## 2. 三宅島剣道連盟より

廣瀬 喜与 先生

小金井の皆様、毎年、小金井市の剣道大会に、三宅島からの参加を快く受け入れてくださり、本当にありがとうございます。この場をお借りして、改めて感謝を申し上げます。「離島」という限られた環境ですので、試合の機会もなかなかない中で、このように毎年試合に参加させていただけるということは、この上なく幸せなことだと思っております。本当にいつもありがとうございます。

コロナ感染症の影響によって久しく稽古を中断しておりましたが、三宅島においても、今では、小学生から高校生まで、総勢十名程の剣士が週に三回の頻度で稽古に励んでおります。勝手知ったる少ない人数での稽古で、しかも以前とは大きく異なることに、感染の予防の観点から、面マスクやシールドの着用などを余儀なくされ、特に子供達にとっては、モチベーションを維持することが難しくなり、今までよりも剣道が大変に感じてしまう部分が正直あるのではないかと思います。しかし、やはり、剣道は楽しい、稽古は楽しいと身をもって知り得ているのでしょうか、うれしいことに、毎回、精一杯、稽古に励んでくれております。大人もそんな子供達に感化されて、一緒になって日々汗を流しております。

以前に、小金井市の剣道連盟の先生方が、三宅島剣道合宿を企画してくださって、その際は、三宅島の子供達、保護者、大人一同で、小金井の剣士の皆様と存分に心ゆくまで稽古ができると心から楽しみにしておりましたが、コロナ感染症の影響でやむなく延期となってしまう、非常に残念でした。今の状況が落ち着いた折には、是非とも、三宅島で、皆様と存分に稽古ができますことを心より楽しみにしております。

結びになりますが、小金井市剣道連盟の皆様方のご健勝とご活躍、そして、我々の友好の絆が更に強く、末永く続きますことを祈念しております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 3. 段・称号審査会(令和元年9月以降)で合格された会員の皆さん、

おめでとうございます！

(敬称略)

初段合格者・・・砂子健太、鈴木博貴、飯濱雄琉、和田泰樹、新地暁、山口幸太、飯濱晃

砂子大貴、堤真理子、堤直規

二段合格者・・・砂子健太、鈴木博貴、松田雅也、原由希乃、中村諒多、和田泰樹

四段合格者・・・宍戸義和、山本雄大、檜谷史夫

五段合格者・・・飯濱弘紹、小島祐子、鈴木真椰、村上隼矢

六段合格者・・・小林英文、砂子啓子、荻谷信行

七段合格者・・・村上敏行、黒瀬博之、川瀬達郎、土屋誠、川畑公子、大久保武生、鴨下肇

錬士合格者・・・柄澤清、黒瀬博之、古池一正

「冴え」の発行が滞って申し訳ありません。11月7日の市民体育祭剣道大会、ご苦労様でした。三宅島の廣瀬先生から原稿を頂きました。ありがとうございます。多くの方が、昇段審査に合格されておめでとうございます。体験談を順次載せたいと思います。